

## 先進地（現地）調査報告書

平成29年11月30日

玉名市議会  
議長 中尾 嘉男 様

氏名 多田隈 啓二



下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調査議員	作本 幸男、西川 裕文、城戸 淳、多田隈 啓二
日時	平成29年 7月11日（火）～平成29年 7月13日（木）
調査先	金沢市役所本庁、七尾市役所本庁、和倉温泉多目的グラウンド 7/11(火)13:30～ 7/12(水)10:30～ 7/12(水)13:00～
調査事項	・石川県金沢市 移住・定住の取り組みについて ・石川県七尾市 ①「スポーツ合宿のメッカづくり」について ② サッカー場建設について
調査先面会者	別紙のとおり
概要及び所見	別紙のとおり

# 調査報告書概要及び所見

## 1. 金沢市役所視察研修

- (1) 日 時 平成29年 7月11日(火) 午後1時30分～午後2時30分
- (2) 調査先 石川県金沢市役所
- (3) 調査事項 金沢市における移住・定住の取り組みについて
- (4) 調査先面会者 議会事務局 [REDACTED]  
都市整備局定住促進部住宅政策課 [REDACTED]
- (5) 概要及び所見

金沢市は本州中央部の日本海側、石川県のほぼ真ん中に位置し、城下町として栄え、伝統工芸や、伝統芸能がうけつがれていた。人口465,265人、世帯数201,623世帯、面積465.64平方キロ、予算規模約3,323億円(一般会計1,697億円、特別会計1,012億円、企業会計614億円)、職員数3,267人、議員定数38人、議会事務局職員18人の、石川県の県庁所在地であり、中核市に指定されていた。

金沢市は、中心市街地の土地価格が高いことや、敷地が狭いことで、人口の郊外への流出によりまちなかの人口減少が著しくなっていた。そのような中、住んでいただくよう、「金沢市定住の促進に関する条例」を制定され、定住移住等による人口の増加及び街中の活性化を図り活力に満ちた持続的な人口定着、子育て家庭に適した移住環境の確保、住宅の質的向上、土地の有効活用並びに良好な街並みの形成に配慮されており、まちなか空き地活用促進奨励金・郊外部移住者住宅取得奨励金・郊外部移住者マンション購入奨励金・郊外部移住者中古分譲マンション改修費補助金・郊外部移住者空き家活用促進補助金を活かした移住・定住促進がなされていた。研修により、玉名市でも行政がもっと主体的に補助事業を活用し、移住・定住に繋げるまちづくりを進め、将来に向けてのビジョンづくりが重要であり、大切だと感じた。

# 調査報告書概要及び所見

## 2. 七尾市役所視察研修

- (1) 日 時 平成29年 7月11日(火) 午前10時～午後4時
- (2) 調査先 石川県七尾市役所
- (3) 調査事項 1. 「スポーツ合宿のメッカづくり～七尾を全国の拠点に～」について  
2. サッカー場建設について(現地視察)
- (4) 調査先面会者 七尾市議会 高僧 弘 議長  
議会事務局 [REDACTED]  
産業部観光交流課 [REDACTED] 交流推進グループ [REDACTED]  
和倉温泉運動公園テニスコートチーフディレクター [REDACTED]  
(一社)セブンスポーツアクトセブンジュニアコーチ [REDACTED]
- (5) 概要及び所見

七尾市は能登半島の中ほどに位置し、古代より能登の政治・経済・文化の中心として発展し、全国的に有名な和倉温泉や様々なリゾート施設を有する能登島をはじめ、観光資源にも恵まれていた。人口54,232人、世帯数22,174世帯、面積318.32平方キロ、予算規模約637億円、職員数559人、議員定数22人、議会事務局職員5人で、一市3町の合併がされていた。

七尾市を含めた能登半島は、2011年日本で初めて、世界農業遺産に認定されており、人が輝く、交流体感都市をめざして、活躍する人づくりを目指し、来訪者と市民がその魅力を体験、交流を図り、行動計画の一つとして、交流人口拡大を図る「スポーツ合宿」に取り組まれていた。

合宿誘致事業の取り組みは、和倉温泉の一部の旅館がサッカー合宿の受け入れを開始した。その後、「七尾市合宿等誘致事業費補助金」が開始された。指定管理者である和倉温泉旅館組合と連携し、競技団体、大学等を訪問し、誘致活動を行っていた。平成21年に、減少する宿泊者に歯止めをかけるための方策として、和倉温泉観光協会・旅館協同組合が市へサッカー場の建設を要望し、平成22年に和倉温泉公園多目的グラウンドが、平成25年に能登島グラウンド(結果、合計サッカー場8面、ラグビー場1面、フットサル4面)が完成している。その後も、平成27年和倉温泉運動公園テニスコートが完成し、素晴らしい施設であった。設備整備の費用は、合併特例債を含め、過疎債、国庫交付金、スポーツ関連予算、自己資金を抑えた対応がなされていた。

今回の研修で、和倉温泉観光協会が指定管理されており、指定管理料に関しても始めは行政から出されていたがのちには施設使用料金で管理・運営されていた。また、合宿の補助金として延べ、50泊以上宿泊する事。(中学生以下は、25泊以上)引率者は2人まで助成対象とされ、助成額高校生以上の団体、一人一泊1,000円上限50万円や、中学生以下の団体一人一泊500円上限25万円やコンベンション・スポーツ大会等の補助金があった。玉名市でもサッカー場の建設が計画されており、地域団体等一体となった建設に向けた取り組みが大切だと改めて感じた。